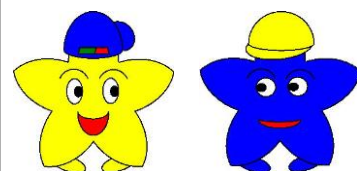


基本理念 「愛情と信頼」「研鑽と結束」

忠別川



東光小学校だより
令和元年7月24日
NO.4

夏休みは感性をはぐくむチャンス！

校長 西 分 健 二

運動会に引き続き、遠足や修学旅行、宿泊研修を無事に終え、明日から夏季休業に入りますが、この間、子どもたちは、様々な場面で自分らしさ（よさ）を出し、素晴らしい活躍の姿を見せてくれたことを大変嬉しく思い、7月の全校集会でこれまでの子どもたちの頑張りを讃えました。

さて、とある研修でその講師の方が話していたことが印象に残っています。「労働には大きく分けて三つあります。それは、頭脳労働、肉体労働、そして感情労働です。これからの社会を生き抜く子どもたちにとって最も大事となるのは感情労働です。」という内容でしたが、ICT、IoTが発達し、ネットにつながった人工知能がいろんなことをこなす話題を聞くにつれ、この話を思い出します。そして、感情労働において最も大切なことは感性だと思っています。なぜなら、感性は人としてのあり方の原点でもあり、思考したり判断したりする原動力となっているからです。美しいものを美しいと感じることや汚い言葉に嫌だと感じる心、優しい言葉に心が癒される感覚をもつことが正義感や思いやりなどの様々な価値観を高めることになります。学びにおいても同じで、子どもが学びたい、調べたいという意欲は、「不思議だなあ？」「おもしろいなあ」等の感性が基盤になって追究活動へと繋がっていきます。以下の感性を豊かにするための10の契機を参考に、今後とも子どもの感性を家庭・学校で豊かに育んでいきたいと思います。

- ①直感を働かせる
- ②諸感覚を働かせる
- ③他者とのかかわり合いを豊かにする
- ④読書や芸術に親しむ
- ⑤想像し、知る
- ⑥好きになる
- ⑦夢や目標をもつ
- ⑧新しいことに接する
- ⑨学ぶべきことはきちんと学ぶ
- ⑩表現・発信する



すべての子どもの可能性を広げ、少しずつ着実に未来を生き抜く力を育成していくために、今後とも家庭及び地域の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

8月20日、充実した夏休みを過ごし、一まわりたくましくなった子どもたちとの再会を楽しみにしております。